

4月15日-16日に開催されたワールドカップに、昨年の世界選手権の優勝者、ビョルナー・バルシュタ（ノルウェー男子）とキルシュ・ボシュトロム（フィンランド）が参戦した。

彼らに日本でのオリエンテーリングの印象を聞いてみた。

ビョルナー・バルシュタ（ノルウェー）

1999年男子世界チャンピオン



- ありきたりの質問ですが、日本の森はどうでしたか？

森の印象は、概していいよ。今日は新しい地図を使ったけれど、それもよかった。トレインも気に入っている。別に特別なトレインじゃない。コンチネンタルなタイプのトレインだね。一つ特別なことは、地面が柔らかいことかな。ノルウェーじゃあ、地面は固いからね。だから、体力的に非常にタフだ。

- テレインには随分細かいエリアがありました。地図は正確でしたか？

うーん、止まってしっかり見た訳じゃないけど、ずっと走って行って、ちゃんとコントロールがあったから地図は正確だったんだろう（笑）。スピードの調整が重要だね。それに地形をシンプルにとらえることだ。どこにいるかを正確に知っていなければならないし。まあ、そういうエリアが本戦にもたくさんあるのかな、分からないけどね。

- 昨年の世界選手権では、ラップを見るととっても速いわけじゃないけれど、非常にステディーなペースでレースをしたみたいですね。それがあなたのオリエンテーリン

グの特徴なんですか？

うーん。僕のオリエンテーリングの長所っていうのは、様々なタイプのテレインにスピードを合わせることができる点かな。それと関係ないけど、長所っていう点では身体的な能力だと思う。

- スピードはどれくらいなんですか？

僕はあまりトラックでは走らないからね。7年前の5000mの記録は14'35、3000mが8'32。そんなに速いわけじゃない。

- 技術の話に戻りますが、どうやってそういう技術を身につけたんですか？

それは地図で沢山練習することだ。僕はいろいろなタイプのテレインで沢山の地図を使った練習をしている。昨年の世界選手権の前の30週間、僕は毎週5回以上の地図を使った練習をしている。

- 30週間ですか？

そう30週だ。いいオリエンティアになりたかったら、地図で沢山練習することだ。テレインは場所によって違う、いろいろな種類の地図・テレインを経験することだ。ワールドカップの面白いところは、いろいろな種類のテレインで半年間という長丁場でやるということだ。

- では、あなたにとって新しい日本の森でああなたがどんなふうに走るか、楽しみですね。

ああ、僕らは毎日少しずつ新しいことを学んでいる。

- 日本の森を走る戦略について何かありますか？

日本全般というのは分からないけど、ここの森については、走りやすいということだ。どこでもよく走れる。深い谷も少ないし。だからできるだけまっすぐ走ることだと思う。まあ、どうなることやら。

<レース後のパンケットで、WCの印象を聞いてみた>

- 日本でのWCはどうでしたか？

個人のコースは良かった。前半がコンチネンタル（大陸的な地形）で、後半が微地形、様々なバリエーションが要求されている。これがオリエンテーリングのコースってもんだ。もっとも僕はその微地形になってからミスをしたんだが。

この地図をフィンランドへのセレクションに使うんだって？いい準備ができるじゃないか。こんなテレインと地図があるなら日本はもっと強くなれるよ。

キルシュ・ボシュトロム(フィンランド)

1999年女子世界チャンピオン



今日は、モデルテレインに入ったんだけど、よかったわ。とっても細かいエリアがあって、難しい部分はあるけれど。特に縮尺 1:15,000 を使おうとするととっても読むのが難しいの。1:10,000 同じように描いてある

はずなのに、全然読みやすさが違うわ。1:15,000で見ると違和感はあるけど、あとで 1:10,000 をみると、地図が正しいことが分かるの。それと、細かいエリアは走るのがたいへん。

このワールドカップに来る前にポルトガルでトレーニングキャンプをしてきた。フィンランドではまだ雪が 1m もあるし、そうしなければトレーニングができないから。でも、それほど沢山できた訳じゃないわ。

- WCでの作戦は？

ええーと、いろいろなタイプの地域が混在している。難しくてゆっくりいかなければならないところ、それから速く走れるところ、それを地図から読みとって、スピードを調整することかしら。今年の目標は、もちろん最後にランキングで 5 位とか 3 位とか、上位にいることね。だから、日本のレースでは上位じゃなくても、いい結果を残すこと、それによって自信を持つことね。

食事はとってもおいしい。ライスはフィンランドにいる時にも食べているので、それにいろいろなかけもの(ふりかけ?)がある。食卓にいと、いろいろな種類の小鉢がならんでいるでしょ。それが楽しいわ。国じゃあ、マカロニをゆでて、ちょっとサラダがあるだけというような食事が多いから。

この秋、富山が燃える

全日本リレー2000 求む富山県選手団！！

特 典

JOA 競技者登録に必要な登録料が無料
全日本リレー選手権大会選手は参加費無料
" 宿泊費が一部補助

今年11月19日(日)に富山県大沢野町において開催されます。

富山県在住オリエンティア、 富山県出身学生オリエンティア

の皆さん！地元富山での今大会。
富山県代表として走ってみませんか。

今年度よりJOAの競技者登録制度が実施され、
選手権クラスに参加するためには、事前に
“競技者登録”を行う必要があります。

富山県ではOL人口が少なく、大会運営に多くの会員があたるため、選手団の編成がとても困難な状況となっています。
皆さんの走りで富山を熱くしてみませんか…。

【資格】 JOA 規程の “競技者登録” をできる方
居住地または勤務地(学生・生徒にあっては学校所在地)が富山県内であること。
学生(大学・大学院・専門学校等)に限り、出身高校所在地が富山県内であること。

【申込期限】 平成12年7月20日(祝)

興味のある方は、ぜひ下記までご連絡ください。詳細をご案内いたします。

【問合せ先】富山県オリエンテリング協会 全日本リレー富山県選手団担当

山口敏夫(やまぐち としお)

TEL 076-466-3288 E-mail fwix1311@mb.infoweb.ne.jp

〒939-2705 富山県婦負郡婦中町宮ヶ島 141-5